

それはまるで天守閣のようでした。

地域には、学校の経費を援助する組織が作られていて、保存規定も厳重でした。このおかげで、一八八二（明治一五）年からの古文書や明治初期の教科書、一八九四年度からの卒業生の写真等々が数多く保存されています。

（明治一七）年度からの卒業生の写真等々が数多く保存されています。

一八九四年度からの卒業生の写

真等々が数多く保存されています。

### 新聞報道された美しい話題



京都新聞  
平成21年12月2日朝刊



### ・明治時代の校門

1880(明治13)年から1968(昭和43)年ごろまで、この校門をくぐった児童は約2万人になると推定されます。

昔の写真を見ると、校門の上に鉄のアーチがあり、その上に「ガス燈」がある珍しい校門でした。現在は正門に入った北側に保存されています。

・矢部先生紀恩碑  
前身の東野校が開校する前の一八七一（明治四）年から約四〇年

山階小学校創立130周年記念事業の一つとして横幕が製作されました。

### ・山科村役場の鬼瓦

山階小学校創立130周年記念事業の一つとして横幕が製作されました。  
山科村役場の鬼瓦  
1992(平成4)年 山科の歴史を知る会により発見され、平成20年から山階小学校に保管されています。2010(平成22)年1月 卒業生・吉田耕之助が鬼瓦等がよく見えるよう、このように台座に載せました。



### 山科における公立小中高の変遷

年代	出来事
明治二〇年	学制がしきれる。
明治五年	東野校開校(明治三年に山階校となる)。
明治二五年	小学校が尋常高等の一段階となる。
明治三六年	山階尋常小学校・勸修尋常小学校
明治二六年	宇治郡第一高等小学校が山階尋常小学校内
明治二七年	宇治郡第一高等小学校・勸修高等小学校が山階高等小学校へ移る。
明治二八年	山階高等小学校・勸修の各尋常小学校が山階尋常小学校となる。
明治二九年	山階尋常高等小学校からなる山階尋常小学校開校
明治三〇年	各小学校が国民学校となる。
明治三一年	学校教育法の施行(六・三・三制)
明治三二年	国民学校が小学校となる。
明治三三年	山科中学校開校
昭和二二年	山科中学校閉校

年代	出来事
昭和二九年	洛東高校山科に移転
昭和三〇年	京都東養護学校開校
昭和三一年	大塚小学校開校
昭和三二年	音羽川中学校開校
昭和三三年	花山中学校開校
昭和三四年	安朱小学校開校
昭和三五年	陵ヶ岡小学校開校
昭和三六年	大宅小学校開校
昭和三七年	百々小学校開校
昭和三八年	安祥寺中学校開校
昭和三九年	大宅小学校開校
昭和四〇年	京都東養護学校開校
昭和四一年	京都東養護学校開校
昭和四二年	音羽川中学校開校
昭和四三年	花山中学校開校
昭和四四年	安朱小学校開校
昭和四五年	陵ヶ岡小学校開校
昭和四六年	大宅小学校開校
昭和四七年	音羽川中学校開校
昭和四八年	花山中学校開校
昭和四九年	安朱小学校開校
昭和五〇年	陵ヶ岡小学校開校
昭和五一年	大塚小学校開校
昭和五二年	京都東養護学校開校
昭和五三年	(平成一九年に京都東総合支援学校と改称)
昭和五四年	大宅小学校開校
昭和五五年	音羽川中学校開校
昭和五六年	西野小学校開校
昭和五六七年	音羽川中学校開校
昭和五八年	西野小学校開校
昭和五九年	音羽川中学校開校
昭和六〇年	音羽川中学校開校



山科区役所前には、名所旧跡が刻まれています。この作詞文は山階小学校所蔵のものを写したもので

木百選に選ばれている木が八本あります。（プラタナス、シダレヤナギ雌雄、イチヨウ雌雄、クスノキ、ソメイヨシノ雌雄）後記三種類は区民誇りの木です。この外にも果樹約50本を含め、大小合わせて約800本の木が植えられています。毎年落葉時には、校庭のほか、近所の家にもゴミ袋を配布して枯葉を集め、学校菜園の腐葉土に使用。地域の人々が毎日菜園を管理して児童に立派な農作物栽培を教えています。

### おもしろ 東野にあった桐材店



大正時代には東野で下駄製造が発達し、数軒の工場で年間四万八千足を製造していたとの記録が残されています。下駄を高く積み上げた姿は一九一〇(昭和五年)ごろまで見られました。

山階小学校の北校舎屋上には、防空用サイレンがあります。

現存する京都市内でたつた一つの防空用サイレン(戦争遺産)です。



防空用サイレン  
2008(平成20).8.1 卒業生・土山年雄撮影  
1937(昭和12)年 北校舎屋上に、陸軍が設置した防空用サイレンです。山科全域に響き渡りました。

へ、さうに南へ進んで、山階小学校の南側まで達していましたことが分かります。



1935(昭和10)年の運動場  
現在の体育館がある場所は、昔運動場の東でこんな姿をしていました。山科本願寺の土壘そのものですね。

### ・防空用サイレン

一〇〇四(平成一六)年、卒業を目前にして亡くなつた児童にまつわる物語です。

山階小学校に設置されていた「病弱育成学級」に在籍していたこの児童は、入退院を繰り返した後、卒業の一箇月前に亡くなりました。その告別式の夜に、山階小学校のヒマラヤスギが強風で倒れるという事件が起こりました。  
たまたま、このヒマラヤスギをもらった薬剤師の方が、広隆寺の国宝「弥勒菩薩像」を模し、五年の歳月をかけて仏像を作りました。その方が、山階小学校児童にも仏像を見せたいと学校に連絡したところ、このようなエピソードがあることを聞き、しばらくの間、玄関に展示することを申し出られました。今この仏像は子どもたちをやさしく見守っています。



### 71 なぎの木

昔、この辺りにナギの大樹があつたことが「桟辻」の地名の由来とされています。

### 山科区役所のルーツ

江戸以前	山城国宇治郡山科郷各村
慶應四年	京都府宇治郡山科郷各村
明治五年	大小区制
明治二三年	町村制施行
明治五年	京都府宇治郡各町村戸長役場
明治二五年	東野校に区務室(役場)設置
明治三七年ごろ	京都府宇治郡山科村役場(山階校内)
大正一五年	京都府宇治郡山科町役場
昭和二六年	京都市に編入
昭和二七年	京都市東山区役所山科支所
昭和五一年	京都市山科区役所
昭和五二年	京都市山科区役所現在地に移転